Innovation of Medical Service

ベトナム人看護師
養成事業

News Letter vol.126

（合併号）
令和７年 12 月
令和８年 １月

ベトナム国フンイエン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

日本語による看護専門教育をおこないました（10 期生）

12 月 15 日から 19 日までの５日間、10 期生を対象に追加看護専門教育がおこなわれました。日本の看護知識を学ぶことはもちろん、老年看護学では高齢者疑似体験をおこなったり、在宅看護論では講義内容に関連する実習経験をグループで話し合ったりして、理解を深めました。期間の後半ではオンラインで日本と現地をつなぎ、日本にいる講師へ向けてグループでまとめたことを発表しました。発表役の学生は緊張しながらも大きな声で堂々と発表し、講師からの講評の際はみんな背筋を伸ばしてしっかりと話を聞いている様子が伺えました。

最終日におこなわれた振り返り学習では講師から学生へ質問が送られ、講義内容や自身の経験を踏まえて考えたことを一人ずつ日本語で発表しました。以下は実際の質疑応答の一部です。

- 文化を考慮した看護について、ベトナムではどのようなことをしていますか。また、自分が日本で働いたらどのような状況に出会い、どのようなことをすると思いますか。

  ベトナムでは患者さんの家族と協力して、食事介助やケアをおこなっています。日本では患者さんの意見を尊重する看護をおこなうため、患者さんへわかりやすい説明をすることが必要だと思います。

- 高齢の患者さんと接して困ったことがありましたか。それはどのような場面でしたか。

  薬の飲み方を説明しても患者さんがすぐに忘れてしまい、何度も説明をしたことがあります。患者さんに伝わるように、ゆっくり、やさしい言葉で話すようにしました。

新たな知識を学ぶだけでなく、今まで学習した知識や経験に関連付けて考える機会となり、学生たちの看護に関する視野が広げられた５日間でした。今後の実習や国試受験、そして日本での就労の際に今回の経験が活かされることを期待しています。

JLPT を受験しました

12 月７日に日本語能力試験（JLPT）を受験しました。夏の受験を経て、自身の現在地や今後力を入れて勉強すべきことをしっかりと把握し、一人一人が目標を立てて約半年間勉強に励んできました。結果発表は１月下旬の予定です。ベトナムでは、２月中旬からみんなが楽しみにしている旧正月（テト）が始まります。みんなの今までの努力が実を結び、晴れやかな気持ちでテトを迎えられることを願っています。

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。旧年は日越両国の皆様に並々ならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

旧年は日本の医療現場で就労する看護師が新たに３名誕生し、本事業出身の看護師は計 29 名となりました。優秀な人材を養成し医療機関へ送り出すという使命を改めて胸に刻み、多くのご支援くださっている皆様にお応えすべく、事業者関係者一同より一層の努力を続けてまいります。本年も変わらぬお引き立てを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【問い合わせ】
株式会社イノベイションオブメディカルサービス　（担当：福田・霜鳥）
神奈川県厚木市船子 587-1　Tel/046-220-0777　Fax/046-220-0322　Web/http://vietnam-nurse.com/